

バリ&ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第44号 2013年10月発行



以前から紹介していますが、ロンボク島はバリ島と違い、海のリゾートがメインの島で所謂観光スポット的な場所は殆ど無く、観光目当てにロンボク島を訪問する人はあまりいません。

ロンボク島は海のリゾートとしての第二のバリ島を目指し、インドネシア政府も積極的に力を入れている場所で、着々と新たな南海岸地域開発を行こない、高級リゾート施設等も次々と建設中で、新しいゴルフ場の建設を行っています。

海のリゾート以外には観光資源は殆ど無いのですが、少しはこの地域に限られた文化的施設はあり、今回はその一つである、古くからロンボク島に住み着き、島全人口(約280万人)の約9割を占めているイスラム教を信仰しているササク人の伝統的な家屋群のあるサデ村の施設を紹介させていただきます。



ササク独特の釣鐘型穀倉
1階部分は吹き抜けのテラスで
休憩や寝泊まりも出来る

サデ村・ササク人の家屋群風景
茅葺き屋根の家々が並ぶ

観光目的で村内の各々の家屋を見学出来ませんが、今でも普通に村人が住んで生活していますので少し驚かされます。なので入場料とは言わず、入村料として一人 Rp. 10,000 程度の寄進を求められます。

家屋群は、かまぼこ型高床式住居が何軒も並んでいて、その景観は中々の感じです。ロンボク島はササク人の島でもあり、この家屋のモデルはロンボクのいたる所に見受けられます。ロンボク国際空港の表玄関とか、ロンボクの多くのホテルとかロンボクの土産物店にあたりとか色々目に着きます。

この茅葺き屋根の家屋群に入ると日本の弥生時代の集落にタイムスリップしたような感じになります。

この中で今現在の人達も生活し、ロンボクの歴史と文化が溢れ出てくる生きている博物館を見ているようです。

場所はプラヤにあるロンボク国際空港から南に車で20分程度の所にあり、その先にはリゾート開発が進められているクタ地区もあり、道路整備も進んでいて訪問するには本当に便利となりました。ロンボクのお出掛けの際は、是非一度は訪問願います。

マリン・スポーツが満喫できる**ギリ・メノ**に一度はお越してください。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca

のお問い合わせは、 shimaint@r4.dion.ne.jp へ



サデ村・ササク人の家屋内部風景



ロンボク国際空港の正面玄関
ササク独特の釣鐘型穀倉を
イメージして作られている



クタ地区にあるホテル
ノボテル・ロンボク内部の
ササク調の茅葺きコテージ群